持続可能な社会の担い手を育てるための
「なでしこESDカリキュラムマネジメント」

「教科横断的な学習で推進する課題解決型の学習」

◎生活科

〇持続可能な社会の担い手の素地を養う

学習活動にESDを関連させながら、身近な生活やまちから課題を見出したり、友だちと協力して解決に向かって取り組んだりして、できることから行動しようとする資質を養う。

◎総合的な学習の時間

〇主体的な学びをつくっていく力＝個の学び

自ら見出した課題解決に向けて、試行錯誤しながら粘り強く追究し、発展的な課題解決学習を進め、社会参画しようとする資質を育てていく。

〇コミュニケーション力・対話力＝集団の学び

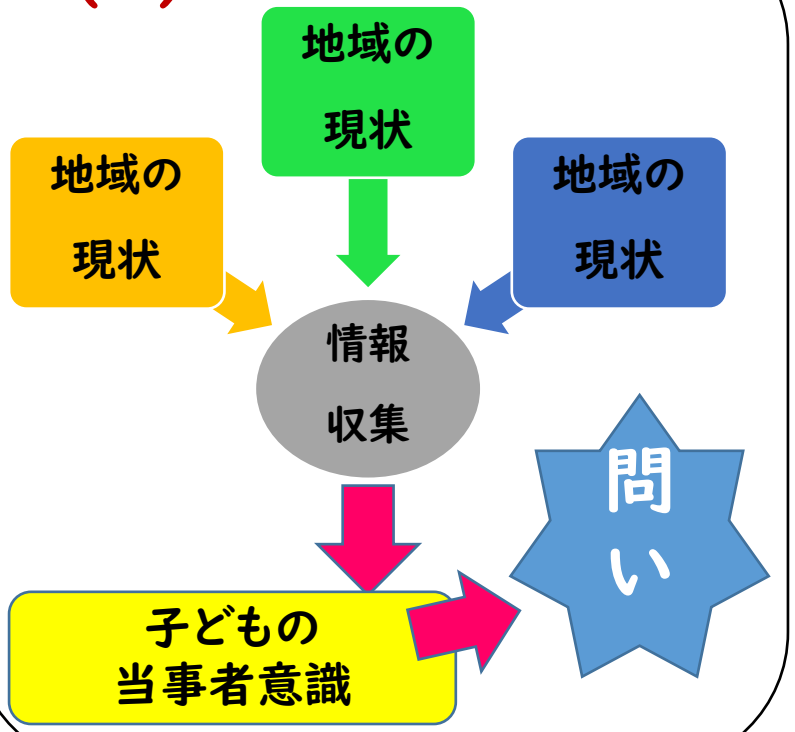
相手意識を持ち、共感的に見たり聞いたりして、自分と異なる他者と協働しながら、よりよい未来の在り方を考えようとする資質を育てていく。

「なでしこESDカリキュラム」における大事な視点

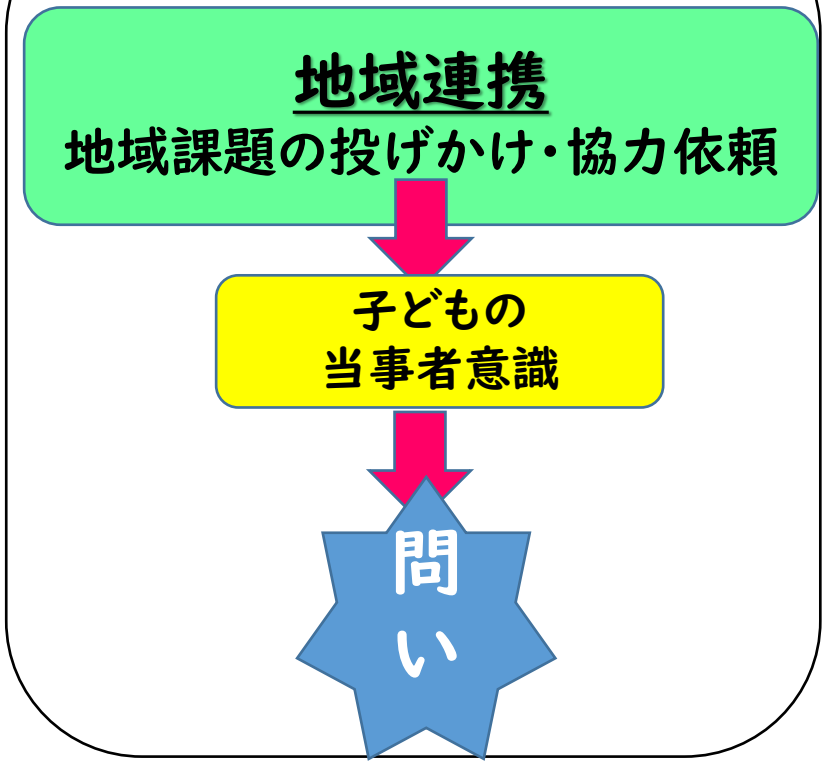
子どもたち自ら「問い」をつくるギミック(からくり・仕かけ)

(1)豊富な体験から

(2)情報収集から



(3)地域のSOS



生活・総合の取り組みを頑張っています

1年

「あきとなかよし」
～草津学区のなかまとなかよくなろう～

2年

「もっと草津学区のまちをたんけんしよう」

3年

「みんなにやさしいくらし」
～草津学区のまち～

4年

「近江お国自慢」
～草津学区のお宝自慢～

5年

「草津学区の伯母川から琵琶湖を守る」

6年

「明日・us・Earth～草津学区企業のSDGsの取組からの生き方を考える～」